



毎月 1 回 1 日 発行  
 発行 公益社団法人 全国防災協会

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 3-11  
 (パインランド日本橋ビル 5F)

電話 03 (6661) 9730 FAX 03 (6661) 9733

発行責任者 水落雅彦 印刷所 (株)白 橋



平成26年度災害復旧促進全国大会が11月27日に開催されました。本文は1月号に掲載予定

目 次

陣内会長が広島土砂災害現地を視察、松井広島市長を表敬…………… 2

会員だより 「初めての災害査定に携わって」  
 ……………佐賀県県土づくり本部河川砂防課 諸石 幸輝… 3

## 陣内会長が広島土砂災害現地を視察、 松井広島市長を表敬

11月14日、当協会の陣内会長が、本年8月20日に広島市で発生した土砂災害現地を災害復旧技術専門家である高倉寅喜氏の案内で視察しました。

また、災害当時に陣頭指揮に当たられ、現在も復旧復興に尽力されている松井一實広島市長（11月27日の災害復旧促進全国大会における地方代表意見要望発表者）を表敬訪問し、災害当時の初動対応や、危機管理、今後の復旧、復興等について意見交換をしました。

現地で説明等をさせていただきました広島市、中国地方整備局の皆様には、大変お世話になりありがとうございました。（協会事務局）

### 【視察箇所】

安佐北区口田  
安佐南区緑井  
安佐南区八木  
安佐北区可部東



写真－1 安佐南区緑井（8月末撮影）



写真－3 松井広島市長を表敬



写真－2 安佐南区緑井において国土交通省担当官から説明



写真－4 左から、高倉専門家、笠原中国地方整備局副局長、陣内会長、松井広島市長、新谷広島市下水道局長

## 会員だより

## 「初めての災害査定に携わって」



佐賀県県土づくり本部  
河川砂防課防災担当 副主査  
諸石 幸輝

## 1. はじめに（自己紹介）

私は平成20年に総合土木職として入庁し、今年度で7年目を迎えました。初任地では農業土木事業を3年、次の事務所では街路整備事業を3年担当してきました。なお、現在所属する河川砂防課防災係は、今年4月からの配属となり、主に水防テレメータシステム関係や災害復旧事業を担当させていただいています。

ただ、災害復旧事業の現場経験は、入庁5年目に河川災害を1箇所経験したのみで、他は管内の災害査定補助班として参加したぐらいでした。

そのため、現在の担当への異動を知ったときは、河川の経験もほとんどなく、浅い災害経験でもあったため、非常に不安な気持ちでありましたが、経験豊富な課内の先輩方に支えられながら、出水期の水防配備も何とか乗り越え、今日まで業務に励んでいるところです。

## 2. 佐賀県の概要

本県は、九州西北部に位置し、東は福岡県、西は長崎県に接し、北は玄界灘、南は有明海に面しており、県の北部には天山・脊振山系、西部には多良山系が連なり、南部には広大な佐賀平野が広がる緑豊かな自然環境を有した地域です（図-1）。県内の河川は、一級河川は筑後川、嘉瀬川、六角川及び松浦川の4水系285河川で延長1,084km、二級河川は60水系174河川で延長509kmとなっています。

また、県の東部には、九州を南北に貫く九州自動車道と東西に走る長崎・大分自動車道のクロスポイントである鳥栖ジャンクション（JCT）があ

り、交通の利便性に優れています。

本県では、これらの自然環境・交通を生かしたイベントも盛んであり、特に嘉瀬川河川敷をメイン会場にアジア最大級を誇る「佐賀国際バルーンフェスタ」が毎年11月上旬に開催され、今年の観客動員は5日間で85万人を記録しました。また、毎年4月に行われる「さが桜マラソン」については、全国屈指のフラットなコースのため、ランナー向けサイトなどで高い評価を得ており、来年のフルマラソンの参加申込者が募集開始から12時間で定員の8,500人に達しました。



図-1 位置図

会員だより

3. 佐賀県の気候

本県の気候は、県中央部の山地を境にして、県の北部が日本海型気候区、県の南部が内陸型気候区に分けられ、年平均気温16℃前後の地域が広く、穏やかな気候です。

また、降水量は、東の脊振山系から西の国見山周辺の山間部で多く、これらの地域では年降水量が2,500mmを超えます。一方、北部の玄界灘沿岸、南部の佐賀平野では雨が少なく年降水量は1,800mm前後です。

4. 近年の災害状況について

直近5カ年については、平成21年度の281箇所をピークに減少傾向ではあるものの、平成24年度の九州北部豪雨による78箇所といった近年のゲリラ豪雨による災害が目立っています(表-1)。

なお、今年の災害は、7月から8月までの集中豪雨により、現在まで災害件数が47箇所(河川16箇所、道路31箇所)で、3次査定まで実施していただきました。

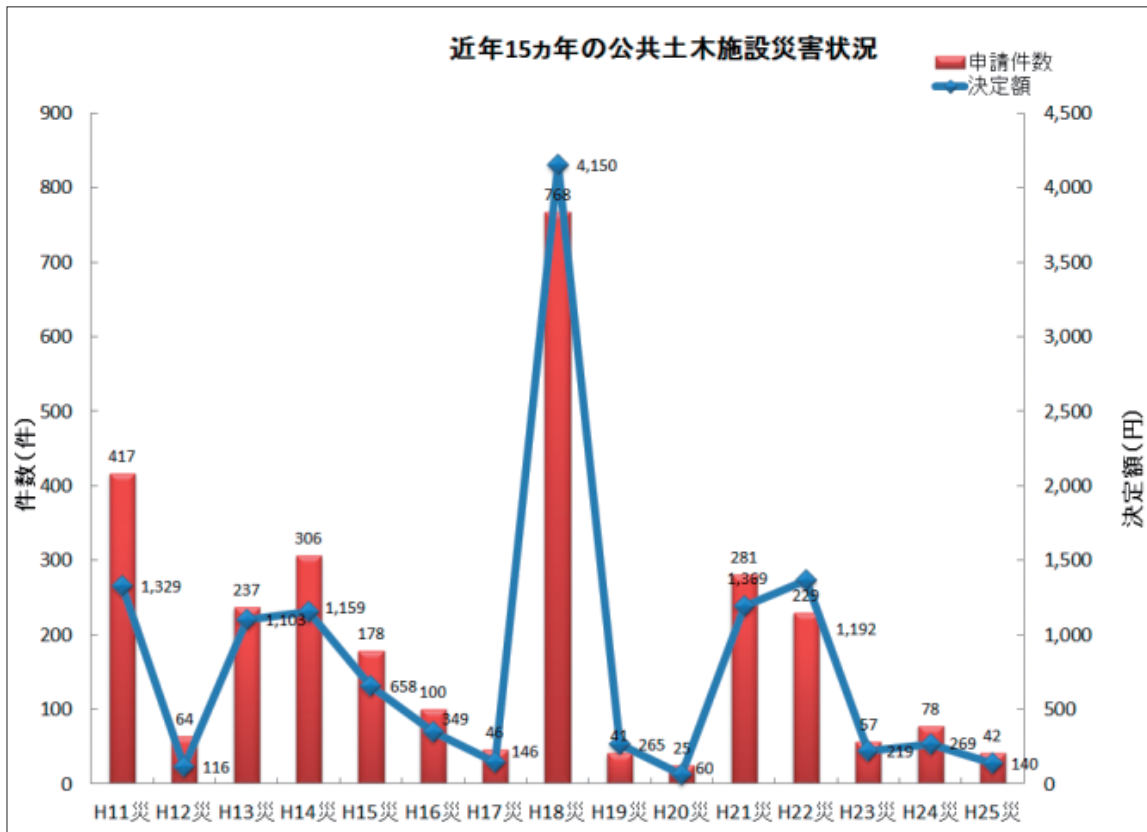
5. 災害査定

(1) 査定準備

私が災害査定に携わったのは、今年の8月3日～5日の豪雨による2次査定が初めてでした。このときの気象概要は、太平洋高気圧周辺部の低気圧から発達した積乱雲が発生したことにより、県内では最大24時間降水量が225.0mm、最大1時間降水量が46.0mmの大雨となりました。この影響により、道路災害6箇所(県道1箇所【写真-1、2】、市道5箇所)、河川災害4箇所(普通河川4箇所)が発生しました。そのため、私は初の災害査定に向けて、係先輩方と準備を始めたわけですが、まず私の作業としては、気象資料の作成でした。気象資料は、災害発生期間の気象概要をまとめて、被災原因の根拠資料として重要なものです。

そのため、資料作成は慎重に進めたつもりでしたが、本番では…。その後、査定前日には、査定官、立会官、随行者の備品関係をまとめて準備万端で本番に臨みました。

表-1 近年の公共土木施設災害状況



会 員 だ よ り



写真－1 武雄福富線 被災直後写真

○工事概要

工 事 名：26年災 武雄福富線道路災害復旧工事  
 路 線 名：主要地方道 武雄福富線

施工位置：武雄市橘町芦原地内

工事概要：復旧延長 L = 20.3m

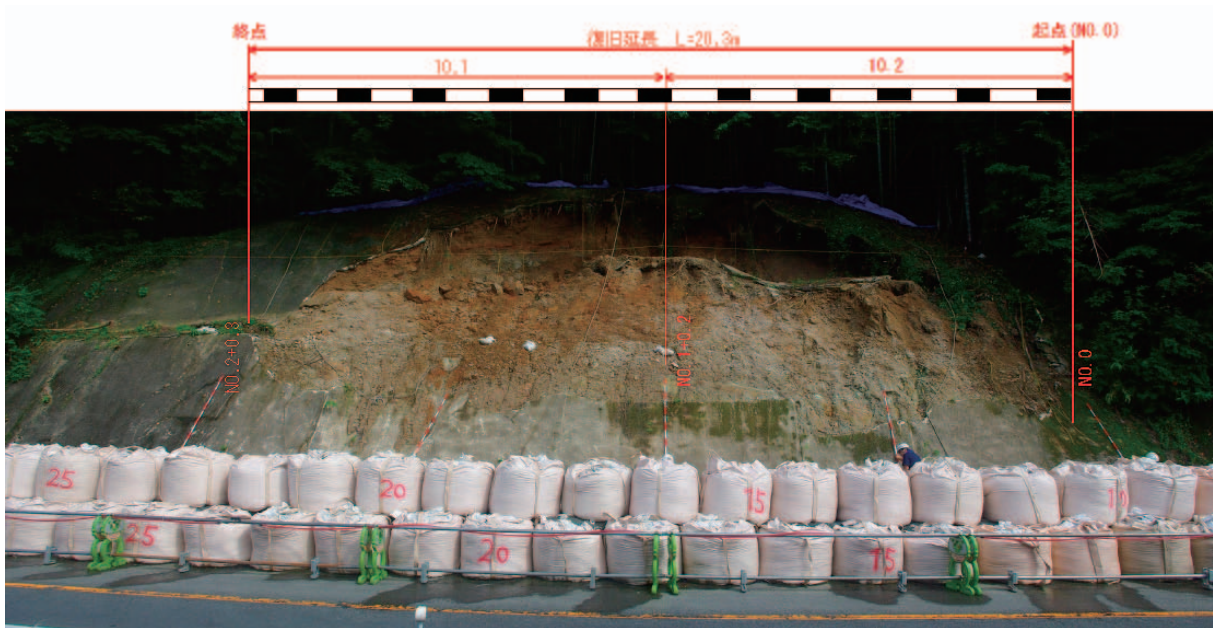
吹付法枠工 348m

モルタル吹付 205㎡

小段排水工 20m

仮設防護柵 88㎡

決 定 額：26,656千円



写真－2 武雄福富線 被災全景写真

表－2 今年度の公共土木施設災害 一覧表

	第1次査定	第2次査定	第3次査定	合 計
期 間	8/27～28	10/8～9	10/20～23	8日間
班 数	1	1	2	4
申請箇所数	6	10	31	47
申請金額 (百万円)	36.9	50.4	208.2	295.5
決定箇所数	6	10	31	47
決定金額 (百万円)	33.4	49.6	203.7	286.7

## 会員だより

## (2) 査定本番

2次査定は、平成26年10月8～9日の2日間で、初日が実地査定5件、机上査定が5件行われました。査定本番では、まず初めに今回の災害に関する概況説明が行われたのですが、立会官より、気象資料の内容に関して、代表雨量局の降雨量表と雨量一覧表との整合がとれていないというご指摘をいただき、開始早々から冷や汗をかいてしまいました。

その後、実地査定～机上査定が行われたわけですが、その中で査定官が特に確認されたことは、①起終点の根拠、②根入れ・天端高の根拠、③境界確認、④トータルステーションの場合の写真の簡素化、⑤環境に配慮した護岸の復旧でした。特に、⑤に関しては、災害復旧に限らず、河川管理者として大切にしなければならない考えであるということに改めて気付かされました。

また、実地査定中は、現場に到着すると、長靴等の備品関係の準備などを始めるわけですが、限られた時間内ということもあり、つつい現場内を走りがちだったのですが、「人災も起こさないためにも現場内では絶対に走らないこと」というご指導もあり、とにかく焦る気持ちを抑えるようにしていました。

初日は、何とか実地・机上査定を無事に終え、2日目の朱入れを迎えることができました。

最終的には、県及び市町をあわせて、10箇所、

約49百万円の採択を受けました(表-2)。

今回、初めての災害査定を経験したことで、最も印象に残ったことは、災害査定が通常の事業とは異なり、短時間で被災状況の確認と工法検討等を行い、申請者、査定官、立会官の三者合意の上で、その場で事業採択がなされるという査定の迅速さに強い衝撃を受けました。そのため、申請者として、①現場状況の十分な把握、②最適な工法の決定、③適切な積算等の重要性について、十分に理解することができました。

## 6. さいごに

今回の災害査定に当たっては、国土交通省九州地方整備局の査定官、財務省福岡財務支局の立会官をはじめ、多くの方々にご指導・ご支援をいただき、この紙面をお借りして、厚くお礼を申し上げます。

今年4月から半年を過ぎたところですが、振り返ると、水防・災害を中心とした人命にかかわる多くのことを学ぶことができました。今後は、早期復旧のためにも、今回の災害査定の経験を生かして、今後の業務に励んでいきたいと思っております。

最後になりますが、緑豊かな自然環境、古代からの歴史・文化に恵まれた佐賀県にぜひ皆様お越しください。



佐賀インターナショナルバルーンフェスタ



唐津くんち

新版発売

あなたはお持ちですか!!

災害査定上手放せない本書をぜひお手元に一冊!

平成 26 年版

## 『災害査定の手引き』

A 5 版156頁 カラー印刷 頒価 3,300円(税込み)  
 会員等\*の方は 5 %引きで3,135円、会員等\*の方は発送料協会負担

本書は、災害復旧事業の円滑・適正な実施のため、災害査定業務に係る基本的な事項を図面、写真、査定設計書、ポンチ絵等を簡潔に分り易くとりまとめたもので、災害復旧事業に関する研修、講習会のテキスト等として幅広く活用されるものと確信いたしております。

※「会員等」とは正会員（個人・団体）、賛助会員、国、都道府県及び市町村の方です。

## 『災害査定の手引き』

## 【目 次】

## 1. 災害発生から工事完了まで

- ・ 災害復旧事業関係法令
- ・ 災害発生から工事完了まで

## 2. 災害復旧事業の採択要件及び範囲

- ・ 採択要件の基本
- ・ 災害復旧事業の対象（公共土木施設）
- ・ 災害の要件（異常天然現象の基準）
- ・ 適用除外（法第 6 条）
- ・ 災害復旧事業の範囲
- ・ 応急工事

## 3. 査定設計書の作成

- ・ 積み上げによる積算
- ・ 総合単価による積算
- ・ 査定設計書の添付写真

## 4. 査定業務

- ・ 査定業務の流れ
- ・ 実地査定
- ・ 机上査定
- ・ 決定金額等
- ・ 再調査
- ・ 査定現場における技術的留意事項
- ・ 河川環境の保全に配慮した復旧工法

## 5. 橋梁災害等

- ・ 橋梁災の採択
- ・ 砂防区域内の準用・普通河川の災害採択（砂防法第 3 条の 2 の規定によって同法が準用される天然の河岸）

## 6. 改良復旧事業

- ・ 改良復旧事業の枠組
- ・ 一定災と災害関連事業

## 7. 災害復旧事例

## 8. 財務省立会制度

- ・ 立会制度について
- ・ 財務検査要綱

## 9. 災害査定心がまえ

- ・ 査定時における検査官の心得
- ・ 現場申請主義
- ・ 査定官回し
- ・ 随行員の役割

## —参考資料—

【図書購入申込については、裏面をご利用下さい。】

◎会員等の方は、会員等専用図書申込書に必要事項をもなくご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

◎非会員(上記以外の方)は東京官書普及（株）シビルBooksへお申し込み下さい。

申込及びお問い合わせ先 : 公益社団法人 全国防災協会

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町3-11 パインランドビル5階 TEL 03(6661)9730(代)

<http://www.zenkokubousai.or.jp>

FAX 03(6661)9733

\*\*\*\*\* 図書案内及び購入申込詳細については協会ホームページをご覧ください \*\*\*\*\*

改訂新版

# 災害関係法令例規集 (平成26年版)

A5判 ビニールクロス上製本 総頁1,104頁 \* 頒価6,400円 (消費税込み)

会員等\*の方は、5%引きで6,080円 (消費税込み 送料協会負担)

\*「会員等」とは、正会員(団体・個人)、賛助会員、国、都道府県及び市町村です。

## New 法令例規集のフォローアップ情報公開始めます

この法令例規集出版後に改正、追加等された法令、通達等は、協会ホームページ中の「平成26年版災害関係法令例規集のフォローアップ情報」で、公開します。(本書に印刷されているIDとPasswordが必要です。)

**災害査定等、災害関係業務に携わる方々の実務書として、この機会に是非お求めください。**

## 本書の内容

### 第一編 災害復旧事業関係

#### 第一章 公共土木施設災害復旧事業費 国庫負担法関係

- 第一節 基本法令
- 第二節 組織法令
- 第三節 覚書及び共同通知

#### 第二章 災害復旧事業の実施手続き関係

- 第一節 国庫負担率算定関係
- 第二節 応急復旧
- 第三節 災害報告
- 第四節 事前打合せ
- 第五節 災害復旧事業の設計書
- 第六節 査定関係
- 第七節 再調査
- 第八節 国庫負担金交付等関係
- 第九節 設計変更
- 第十節 成功認定
- 第十一節 剰余金
- 第十二節 災害復旧事業の適正執行
- 第十三節 査定設計委託
- 第十四節 支援制度

### 第二編 改良復旧事業関係

- 第一章 関連事業
- 第二章 特定関連事業
- 第三章 災特事業

### 第三編 補助事業関係

- 第一章 交付申請等
- 第二章 施越工事
- 第三章 繰越
- 第四章 未竣工工事
- 第五章 残存物件
- 第六章 激甚災害対策特別緊急事業
- 第七章 河川災害復旧等関連緊急事業

### 第四編 激甚災害法関係

#### 第五編 東日本大震災関係

- 第一章 東日本大震災関係法令等
- 第二章 公共土木施設災害復旧関係

#### 第六編 災害対策関係法令

- 第一章 災害対策基本法関係
- 第二章 大規模地震対策
- 第三章 地震防災対策
- 第四章 津波防災対策
- 第五章 活動火山対策
- 第六章 災害救助
- 第七章 災害弔慰
- 第八章 被災者支援
- 第九章 防災集団移転
- 第十章 国際援助

#### 第七編 水防法関係

## 【図書購入申込について】

◎会員等\*の方は下記事項をもれなくご記入の上、FAXにてお申し込み下さい(様式は任意可)

- ◆送付先住所(〒)
- ◆申込団体名
- ◆所属部署
- ◆担当者名
- ◆TEL/FAX
- ◆図書名及び冊数 【災害関係法令例規集 平成26年版】

冊数( )冊

◎会員等以外の方は東京官書普及(株)シビルBooks(送料あり)でご購入ください

申込及びお問い合わせ先 : 公益社団法人 全国防災協会

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町3-11 パインランド日本橋ビル5F TEL 03(6661)9730(代)  
http://www.zenkokubousai.or.jp/ FAX 03(6661)9733

\*\*\*\*\* 図書案内及び購入申込詳細については協会ホームページをご覧ください \*\*\*\*\*



↑  
FAX送信方向

(会員等専用)

## 図 書 申 込 書

公益社団法人 全国防災協会 宛

FAX 03-6661-9733

図 書 名				冊数	冊	価格	¥
				冊数	冊	価格	¥
				冊数	冊	価格	¥
				冊数	冊	価格	¥
				冊数	冊	価格	¥
申 込 者	都道府県名		住 所	〒			
	申込団体名				TEL		
	部 署 名		氏名		FAX		

\* 送付先が代表申込者と同じ場合は下記は省略していただいて結構です

送 付 先			冊 数	請求書等部数			備 考
部 署 名	担当者名	住 所		見 積 書	請 求 書	納 品 書	
		〒					
		〒					
		〒					
		〒					
		〒					
		〒					
		〒					
		〒					
		〒					

\* ご記入いただいた個人情報は、お申込み図書の配送・お支払確認等の連絡のみに利用します。

通 信 欄	* お問い合わせ、ご意見などがございましたらお書き下さい
-------------	------------------------------

※この申込書は、会員等(正会員(団体・個人)、賛助会員、国、都道府県及び市町村)専用です。  
 ※非会員の方は使用できません。非会員の方は、東京官書普及(株)シビルBooks(送料あり)でご購入ください。

